



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-RYOHOKU

# 広島陵北ロータリークラブ

## - The Weekly Report -

～ クラブのテーマ ～

こころゆたかなロータリアン

～ 本年度会長方針 ～

ロータリアン 一歩 前へ



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012年度  
R.I.会長メッセージ

第999回例会 2011年11月2日 No.971号

### ■ 会長時間



#### 会長 南條 泰

今月はロータリー財団月間です。財団について知識を深め実行するができればありがたいと思います。本来は財団の愛谷委員長が研修を受けられておりますのでいつか詳しくお話があると思います。今日は少しだけお話をさせていただきます。財団の使命は、ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を初め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることである。財源は財団支援の自発的な寄付のみによって支えられています。プログラムとしては、ポリオ・プラス、災害復興、マッチング・グラント、国際親善奨学金、研究支援グループ交換、ロータリー平和フェローシップ等があります。又、ロータリー財団は、未来の夢計画と題して財団のプログラム運営等を変更しようとしています、それが夢計画です。これは財団が2017年に創立100周年を迎える事への大きな第一歩ではないでしょうか。我がクラブは財団への寄付は多数の方が理解されて協力いただいております。感謝申し上げます。「心ゆたかなロータリアン」になるために「一歩前へ」進みましょう。

#### 今回の例会(11月9日)

夜間例会  
第1000回記念夜間例会

#### 次回の例会(11月16日)

来賓卓話  
三菱UFJモルガン・スタンレー証券  
投資情報部 シニア投資ストラテジスト 服部 隆夫 様  
広島支店 法人営業部長 五十嵐 健治 様

#### 出席報告 (渡部幹事)

11月2日(水)出席者  
 会員総数 38名  
 出席会員 34名  
 欠席会員 4名  
 ご来賓 0名  
 ご来客 3名  
 ゲスト 1名

#### 来客者紹介 (南條会長)

11月2日(水)出席者  
 広島RC 2名  
 広島西南RC 1名

#### 幹事報告(渡部幹事)

- お知らせ
  - 次週の例会は「第1000回記念夜間例会」となっております。お間違えのないようご注意ください。(於:リーガロイヤルホテル広島 18:30~)
  - 年次総会のご案内を配布しております。12月14日(水)13:00から例会場にて行いますので、皆様ご出席下さいませようよろしくお願い申し上げます。
- BOX配布物
  - ロータリーの友(11月号)
  - ガバナー月信
  - 2012年ロータリーカレンダー

### SMILE BOX

.....SMILE BOX

#### 下田敬三 君

北広島町の国重要無形民俗文化財「壬生の花田植」が国連教育科学文化機関(ユネスコ)の無形文化遺産への登録が勧告され、11月には正式登録の見通しとなりました。盛会の遺産として価値が認められ、町全体が喜びに沸いています。

#### 会長、幹事、理事

先週のガバナー訪問例会は皆様ご苦勞様でした。フォーラムに出席されました会長・幹事・理事の方々ニコニコへどうぞ。

#### 全員出宝

GSEメンバーのノエルさんが31日にアメリカ・ウィスコンシン州へ帰られました。賀谷君お世話ご苦勞様でした。送別会では団長をはじめノエルさんも涙を流して悲しんでおられました。賀谷君以外の会員の皆様ニコニコへどうぞ。

#### 愛谷俊治 君、田中照章 君、大内稔康 君 (中国新聞より)

広島東洋カープからドラフト1位指名された野村投手、同じく4位指名された土生野手の活躍を祈念し広島・広陵高校出身の愛谷君、明治大学出身の田中君・大内君ニコニコへどうぞ。

当日計	54,000円	累計	428,000円
-----	---------	----	----------

【例会】 毎週水曜日(12:30~13:30) / リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78) / 082-502-1121

【会長】南條 泰 【事務所】広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F 【TEL】082-221-4894

【幹事】渡部 邦昭 【ホームページ】http://www.ryohoku-rc.jp/ 【FAX】082-221-4870

## 米山奨学生卓話

### 『原爆ドームを見て走馬灯のように思い出したスリランカの内戦』

米山奨学生

カハタピティヤガマゲー、シターラ・S さん

皆さんこんにちは！本日私は原爆ドームを見て走馬灯のように思い出したスリランカの内戦というテーマについてお話させて頂きたいと思います。なぜ、この話題を選んだかと言ったら、私の憧れの国日本に来て、ある日平和公園を訪問しました。その時日本は第二次世界大戦で一番悲惨な思いをした国だと思いました。原爆で失った命や人の痛み、街など全ての事を思った時走馬灯のようにスリランカの内戦の事を思い出しました。その時、思った私の気持ちをお話したいと思います。



まず、スリランカはどんな国と言う事を皆さんご存じですか？スリランカの公用語はシンハラ語とタミル語で英語はセカンドラングエージになっています。面積は65,610km<sup>2</sup>、人口は20,238,000人、シンハラ人は人口の74%、タミル人17%、そしてイスラム人7%です。その中の宗教人口は仏教徒69%、ヒンドゥー教徒15%、イスラム教徒8%、キリスト教徒8%です。

スリランカの内戦は、1983年から2009年にかけて展開されたスリランカの政府とタミル・イーラム解放のトラ(LTTE)の間で行われました。その原因は色々ありますが、主にスリランカはイギリスから独立した後、第1ポスト独立憲法を設立するときからシンハラ人とタミル人の民族の間の不一致で燃え上がりました。そして、1956年に、当時の総理大臣バンダーラナヤカはシンハラ語だけを公用語にした事も一つの原因です。その後、1963年タミル人の政治のグループは別の国政を要求しました。当時の政治に不安があったタミル人の若者が1975年にニュー・タミルタイガーというグループを形成しました。1983年の7月、北スリランカのジャフナでLTTEが政府軍を襲撃し、13人を殺害しました。これに対して各市内でシンハラ人はタミル人を殺害しました。

1970年代にLTTEは武器を持つようになり第一内戦が行われ、1990年代にクライマックスになった内戦は2000年代になりノルウェーのサポートでやっと休戦になりました。LTTEと政府側の間で了解書を署名しやっと平和の夢が叶ったと思ったら、また第二内戦が再開してしまいました。それからずっと沢山の命が失われ続けた内戦は、2009年に政府側勝利の宣言を聞き終止符を打ちました。

内戦の恐ろしさを説明出来る証拠は、約10万人以上の人命が失われた事でよく理解できます。その中には政治家だけでなく、一般の民衆やお坊さん、そして幼い子供達までも命を失っています。その戦いの中で家や財産や家族を失った人達は、今もなお難民所で大勢生活しています。

ところで、現在世界から見たら、日本は世界で一番安全で平和な国！日本は平和の象徴！戦争の恐ろしさ、苦しみをよく知っている。まず、武器を持たない事、原子爆弾により戦争の恐ろしさや悲惨さ、命の尊さを一番分かっている。そして二度と戦争はしたくないと言う概念などです。

悲惨な戦争で苦しんでいて最近平和になった国、スリランカから来た私が、戦争で多大な災害を受けたけど頑張って立ち上がった国、日本に来て私が理解したのは、まず戦争で勝った側も負けた側もないということ。というのはいくら勝ったとしても、その裏で何人も罪もない人達の尊い命を奪い、たとえ命があったとしても苦しみを背負い心に深い傷を負いながら生きていかなければならない。むしろ戦争で勝った人の中にこそ人を殺した事で一生を苦しみ生きている人もいると思う。だから戦争で残るのは苦しみだけだという事。戦争になる前にその原因を解決して戦争を防いで行くことがなによりも大切だという事。

最後に一番大事だと思ったのは戦争をしないようにする事や戦争で苦しんだ人を復興させるための努力は世界規模で行う。顔形、肌の色も違う人達だけど、平和を思う心は一つ。国と国とが手を取り合って戦争のない、核兵器のない平和な世界にしていく事だと思います。

以上です。どうも有難うございました。

